



賢いサーバの選び方 第3弾

低価格サーバカタログ

金融危機でIT投資が思うようにできない昨今、管理者やエンジニアは今まで以上に賢いサーバ選びが必要となる。連載最後となる今回は、お手頃価格のメーカー製モデルを選びすぐって紹介しよう。

文●坂本 雄希郎



サーバ機ならではの信頼性

NEC Express5800 シリーズ

低価格モデルを選ぶ際には、値段やスペックばかりに目を奪われず、「サーバ機として本当に使えるかどうか」もしっかりチェックしたい。その点、NEC製のモデルは耐久性や排熱性まで考慮されており、企業ユースでも安心して運用できる。

1万円台から買える 低価格IAサーバ

NECの企業向けIAサーバ「Express5800」には、通常モデルのラインナップとは別に、ローエンドサーバの「Gモデル」が用意されている。Gモデルの特徴を一言でいうなら「オフィスで快適に使える低価格サーバ」である。製品のラインナップには、設置場所をとら

ないスリムタワー型や、静音性の高い水冷式サーバなどがあり、マシンルームのない企業やSOHO環境に最適なモデルが揃っている。

このGモデルの中でも「5800/110Ge」という機種は、いわゆる「激安サーバ」の代表的なモデルの1つによく挙げられる。キャンペーン期間中なら1万円台後半で購入できることから、法人はもちろん個人ユーザーの間でも人気が高い。

また、Gモデルとは別の低価格ブランドには「フレームサーバ」シリーズもある。こちらは、サーバとしての最低限の枠組みだけを用意したロースペックモデルで、ユーザー自身によるカスタマイズが前提となる。たとえばCPUパワーがそれほど要らないファイルサーバなら、HDDやネットワーク機能を増強すればよいので、結果として必要なサーバシステムを最低コストで調達できる。

Express5800/110Ge



1コア 2コア 1ソケット 64ビットOS
PCI Express x8 ECCメモリ
3年パーツ保証 3年保守サービス

標準価格 3万3000円～
キャンペーン価格 1万9950円～

Gモデルシリーズの中でも、抜群のコストパフォーマンスを誇るミドルタワー型サーバ。廉価なパーツを採用しながらもサーバ機としての実用性は高く、64ビットOSの対応や3年保守サービス、ECCメモリのサポートなど企業ユースでも十分な仕様を備える。

また、長期間の連続稼働にも耐えられるよう、サーバ用に設計された冷却ファンや電源ユニットを標準で搭載する。

Express5800/S70 タイプSD



1コア 1ソケット 64ビットOS
PCI Express x16
6か月パーツ保証 6か月保守サービス

標準価格 3万4650円～
キャンペーン価格 1万4700円～

フレームサーバシリーズの最新モデルで、標準構成で3万円台という低価格を実現したIAサーバ。大容量のファイルサーバを安価に構築するニーズに応え、SATAのHDDを合計4台(最大3TB)まで拡張可能。さらに無料のLinux系のサーバOSを複数サポートしている。

また端末としての使いやすさも考慮し、256MBのビデオRAMおよびサウンドチップをそれぞれオンボードで搭載する。

表1 Express5800/110Geのカスタマイズ例

	標準モデル	カスタマイズモデル			
CPU	Celeron 430 (1.80GHz、512KB L2)	デュアルコア Pentium E2160 (1.80GHz、1MB L2)	デュアルコア Xeon 3065 (2.33GHz、4MB L2)		
メモリ	ECC付きDDR2-SDRAM (512MB)	ECC付きDDR2-SDRAM (最大8GB)			
HDD	ディスクレス	3.5インチSATA×4 (最大4TB)		3.5インチSAS×4 (最大439.5GB)	
RAID対応	SATA: RAID 0、1	SATA: RAID 0、1、5、6		SAS: RAID 0、1、5、6	
テープドライブ	-	内蔵AIT	内蔵LTO	内蔵DAT	内蔵RDX
光学ドライブ	DVD-RAM	DVDSuperMULTI			